

発行 熊本市立花園小学校
 責任者 学校長 杉本佳秋
 〒860-0072
 熊本市西区花園6丁目9番15号
 ☎096-355-0258

花いっぱい！笑顔いっぱい！
花園小
 校訓「健康・英知・勤勉・洗心」

ホームページはこちら



学校だより第17・18号で、12月に実施した「心のアンケート」の結果についてお伝えしました。コロナ禍が長期化する中、子どもたちの心の状態は今後も心配されるところです。お子さんの様子で気になることがあれば遠慮なく学校、担任までご連絡ください。

「いじめ防止等対策委員会」を開催しました！！

2月24日（木）に、いじめの現状分析、いじめを効果的に防止する方策等について検討する「いじめ防止等対策委員会」を開催しました。花園小では、年2回を計画し、7月20日の第1回目につき、2回目の開催となりました。



本校職員とともに、外部の専門家として、中央警察署スクールサポーターの武満さん（警察OBの方です）、本校担当のSSW（スクールソーシャルワーカー）の道脇さん、2名の方に参加していただきました。



武満さん



道脇さん

毎月の「きずなアンケート」、12月の「心のアンケート」等の報告、花園小のいじめの現状、課題解決のための取組について協議しました。

【「いじめ防止等対策委員会」協議内容】

いじめの現状	毎月の「きずなアンケート」をもとに、いじめはどの子にも起こりうるという視点で現状把握に努めている。アンケートでは見えないトラブルも多く、保護者の方からの相談により対応できたケースもあった。
課題解決の取組	6月・12月の教育相談、関係者でのケース会議により、早期発見、早期対応につながったケースもあった。人権旬間に、学級ごとの人権目標を決め、教室入り口に掲示した取組は児童の意識を高めた。次年度も継続するとともに、いじめの防止に向けた学習にも力を入れる必要があると感じた。
地域・家庭との連携	心かがやけ月間の取組として、授業参観で道徳の学習を公開した。親子で命の大切さ、規範意識について話す機会となった。地域にも広げたい。
児童のストレス	低学年は入学以来、新型コロナウイルス感染の不安の中で学校生活を過ごしている。人との距離感など抱えているストレスも大きいと感じる。ストレスが大きい環境はいじめが起きやすくなる。今後も注意深い観察が必要である。
SNS上でのいじめ	コロナ禍で電子映像の接触時間が増え、今後もその傾向は強くなると予想される。学校におけるメディアリテラシー教育の充実が必要である。

最後に、いじめの解消は、「いじめに係る行為がなくなった状態」がある程度続いていること、「被害児童の心身の状態」が苦痛を感じていないこと、2つが満たされている状態のことです。今後も日常的な注意深い見守りが必要であることも参加者全員で確認しました。